

平成 2 8 年

第 2 回仙北市議会定例会
教 育 行 政 報 告

仙北市教育委員会

平成 2 8 年 2 月 2 3 日

平成28年第2回仙北市議会定例会の開会にあたり、主な事項について、ご報告させていただきます。

【教育総務課】

◇仙北市立学校施設天井等落下防止対策事業について

文部科学省からの通知を受けて行われました、小学校4校（角館、白岩、神代、桧木内）、中学校3校（角館、生保内、西明寺）の学校施設天井等落下防止対策工事が、2月19日に完成いたしました。

工事期間が3ヵ月から4ヵ月と長期間を要しましたが、事故等も無く工事を終了することができ、安全対策、防災機能の更なる強化を図ることができました。

また、今後、予定しております小学校3校（中川、生保内、西明寺）と中学校2校（神代、桧木内）についても、夏季休業等を利用し、学校運営等に支障を来すことの無いよう配慮しながら、児童生徒の安全対策に万全を期して進めて参ります。

【教育指導課】

◇作文コンクールの全国優秀賞受賞について

桧木内中学校1年の鈴木隼斗（はやと）さんが、JAが主催する「ごはん・お米とわたし」作文・図画コンクールの中学校作文部門で、秋田県コンクールの最優秀賞と全国コンクールの優秀賞を受賞しました。

鈴木さんの作文の題名は「パンよりご飯」で、小さいときからのご飯とのかかわりを振り返りながら、ご飯をとおして家族との絆が一層強まった経験を生き生きと表現したものです。

身近な存在であるごはん・お米の大切さを自分自身の経験をもとに、気づき、考え、表現できたことは、大変素晴らしいことであり、これからの食・農・地域を担う次世代の子どもたちにも是非読ませたい内容です。なお、仙北市教育委員会だより「きたうら」にも本

文を紹介しております。

◇「ドローンを用いたロボットプログラミング学習研究推進指定校事業」指定証交付式について

1月29日、西明寺小学校において、「ドローンを用いたロボットプログラミング学習研究推進指定校事業」の指定証交付式を行いました。

これは、ドローンを用いたロボットプログラミング学習を中核とした、小学校における先進的な取り組みを推進し、本市の児童の科学的思考力・判断力や科学的実践力の向上を図るとともに、その成果等を国内外に発信する事業であります。西明寺小学校は、この事業の拠点校として、教育課程の中で研究を推進していくことになっております。

この交付式を通して、児童はこれからの学習のねらいや意味をつかみ、最新の科学技術や新しい学習への期待や意欲をふくらませることができたと感じております。今後、児童のアイデアを生かしながら、ドローンの新しい活用方法等を探って参りたいと思います。

なお、2月19日、研究協力校として中川小学校と神代小学校を指定し、指定証を交付いたしました。

◇全国中学校スキー大会について

2月2日に開幕した第53回全国中学校スキー大会クロスカントリー競技は、北海道なよろ健康の森クロスカントリーコースで行われました。競技第4日目となる2月5日に行われたリレー競技で、桧木内中学校3年の門脇匠(たくみ)さんが、県代表チームの第3走者として出場し、見事第5位入賞という素晴らしい成績を収めました。

北緯44度付近に位置する名寄(なよろ)市は、気温も低く調整も難しかったようですが、門脇さんは、桧木内で鍛えた気力と体力をいかに発揮して、全国大会入賞の快挙を成し遂げました。

【生涯学習課】

◇「仙北市総合美術展」について

「第5回仙北市総合美術展」が、2月9日から21日まで角館町平福記念美術館において開催されました。

これまでの開催を通し、市民手作りの美術展として好評をいただく中、140人と3グループから、絵画や書、写真のほか、工芸や文芸作品などの出展がありました。多分野にわたり、市民の皆様が日ごろから取り組んでいる成果を披露していただき、改めて生涯学習の裾野が広いことを実感いたしました。

会期中は、たくさんの来場者が、展示された力作を熱心に鑑賞し、また、出展者との交流も図られるなど有意義な美術展となりました。

【市民会館】

◇ロビーコンサート「津軽三味線 黒澤博幸の世界」について

3月5日に、津軽三味線3年連続日本一の黒澤博幸氏をお迎えしてロビーコンサートを開催いたします。

黒澤氏は、青森県旧金木町（現在、五所川原市）の津軽三味線全国大会で、初の3年連続最高位となり、元オフコースのドラマー大間ジローらとのユニット、「天地人」における三味線・横笛奏者として活躍しています。

世界各国での公演活動に加え、舞踊や他ジャンルとの共演も数多く、近年では「バウワウ」のギタリスト山本恭司との共演でも知られております。伝統とモダンとを縦横無尽に使い分けるすばらしい演奏者ですので、皆様のご来場をお待ちしております。

【田沢湖図書館】

◇「^{オイル}呉 日絵画展」について

2月25日から3月25日まで、日韓の交流に多大のご貢献をされている河^ハ正^{ジョンウン}雄氏から田沢湖図書館に寄贈された「呉日」の額装絵画15点を公開する展覧会を開催いたします。

河氏からの絵画の寄贈は、平成25年以来2度目となります。今

回贈られたのは、2014年に亡くなった在日画家、呉日氏のクレヨン画です。力強いタッチと色彩の豊かさが印象的な作品をご鑑賞いただきたいと思えます。

また、展覧会初日には、寄贈者である河氏が来館され、オープニング・セレモニーを行います。

【学習資料館・イベント交流館】

◇仙北市読書感想文コンクールについて

学習資料館では、仙北市教育委員会主催、角館図書館後援会後援による第5回仙北市読書感想文コンクールを実施いたしました。市内小・中学校から102点、高校生から32点の応募がありました。入選作品30点の中から仙北市長賞2点、角館図書館後援会長賞3点、仙北市教育長賞3点を選出し、2月21日に仙北市総合情報センターで表彰式を行いました。

このコンクール等を通し、子どもたちの読書活動の推進や、更なる作文能力の向上に努めて参ります。

【スポーツ振興課】

◇2016 F I S フリースタイルスキーワールドカップ

秋田たざわ湖大会について（F I S = 国際スキー連盟）

たざわ湖スキー場における2回目のワールドカップとなる2016 F I S フリースタイルスキーワールドカップ秋田たざわ湖大会が、2月25日の公式トレーニングからスタートいたします。

昨年、怪我により出場できなかった、男女の日本人第1人者の遠藤尚選手と伊藤みき選手が参加予定で、日本のモーグル競技を背負う選手の滑りは、観客を魅了するものと期待しております。加えて、小・中学校の児童生徒による、手作りの応援グッズや、今年もアンバサダーとしてお手伝いをいただく、上村愛子さんのさわやかな笑顔が、会場を盛り上げてくれることと思えます。

また、今年のエキスカーションツアーに、大仙市の酒蔵見学の

コースを追加しました。これまでの乳頭温泉郷や武家屋敷のエキスカーションに加え、各国から参加される選手役員の皆様に、仙北市エリアを存分に楽しんでいただきたいと考えております。

現在、カナダチームが、公式練習の一週間前から仙北市に入っております。全日本チームもたざわ湖スキー場で事前合宿を行うなど、世界レベルの選手たちが、田沢湖高原雪まつりの期間からこのエリアに滞在しており、例年以上の賑わいが期待されます。

競技のための環境整備はもちろんのこと、観客へのおもてなしにも努め、昨年以上の盛り上がりを目指して、取り組んで参りたいと思います。

なお、今シーズンの雪不足により、モーグルコースに雪運搬や雪出し作業等の整備を実施しており、これにかかる経費等について、今後、予備費等での対応が必要となることも予想されますので、ご理解いただきますようよろしくお願いいたします。

【文化財課】

◇おやま囃子芸能発表会について

2月11日に、角館交流センターで「おやま囃子芸能発表会」が開催され、12団体が出演しました。

この発表会は、おやま囃子の保存・継承を新しいステップへと飛躍させていくために大きな役割を担っており、舞台、演出等を工夫しながら、更に充実させていきたいと考えております。

当日は、歴史ある伝統芸能の囃子や踊りを堪能しようと、詰めかけた700人ほどの観客から、盛大な拍手が送られていました。

とりわけ、現在、国が「山・鉾・屋台行事」をユネスコの無形文化遺産の候補として再提案しており、秋に行われる無形文化遺産保護条約政府間委員会における採択を、市民や関係者一同、心待ちにしているところであります。

【平福記念美術館】

◇「館蔵品・寄託品展」について

3月1日から4月10日まで、「館蔵品・寄託品展」を開催いたします。美術館所蔵作品、寄託作品の中から仙北市ゆかりの作家である辻九臯、西宮禮和、小野崎大凌などの作品を展示いたします。平福穂庵・百穂常設展と合わせてお楽しみいただくよう、ご来館をお待ちしております。

以上、教育行政に関する報告を申し上げましたが、引き続き教育行政の基本方針及び主要な施策の概要について申し上げます。